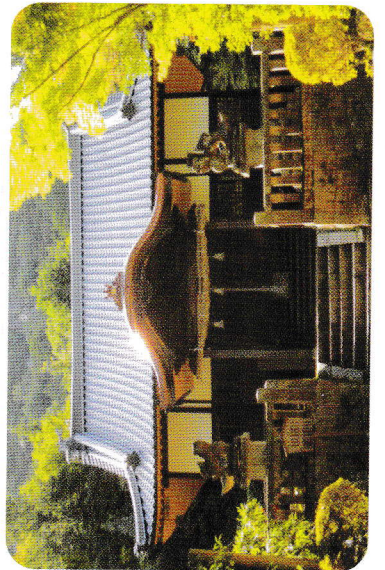




# 早瀧比咩神社



## 年間主要行事

- 五月五日 春祭り
- 七月三日 龍王宮祭
- 七月二十八日 夏越祭(輪ぐり祭)
- 十月第三土・日 秋祭り
- 十一月 七五三祭
- 十二月・一月 歳旦祭
- 一月三日 厄祓祭
- 毎月一日 月次祭

## 鎮座地：

岡山県道266号線滝交差点を左折約二百メートル南の滝バス停(早滝自然公園の看板設置)を右に折れ旧県道62号線を滝川沿いに西へ約五百メートル進み、滝川を渡ったところに鎮座しています。入口の「早滝自然公園」案内板と大きな石灯籠が目印です。参道を進むと左手には多くの石灯籠が寄進されています。また参道の右手には子ども遊具があり、ときおり子ども達の声もはびこります。その奥には錦鯉が噴水池を泳いでいます。

## 早瀧比咩神社

〒706-0153 岡山県玉野市滝 773-77番地

2021.1 II 版発行 氏子総代会

## ご祭神

瀬織津姫命(せおりつひめのみこと)

速秋津姫秋實命(はやあきつひめのみこと)

天彦鳥命(あまのよしぐすのみこと)

## 末社

素戔嗚神社(通称小宮様:すさのおじんじや)

…ご祭神 素戔嗚命/国狭槌命

龍神社(通称竜王様:りゅうじんじや)

…一の滝地内…ご祭神 豊玉姫命

荒神社(こうじんじや) : 杜原ノ境内社へ遷座

牛頭天王宮(ごすてんのうぐう) : 同右

若一王子宫(にやくいちおうじくう) : 境内社

木野山神社(きのやましんじや) : 境内社

岩上神社(いわがみじんじや) : 奥地内

稲荷神社(いなりじんじや) : 蓮岡地内



龍神社



素戔嗚神社



荒神社



牛頭天王宮・若一王子宫



稲荷神社



岩上神社



木野山神社

## 御由緒

言い伝えによると当神社の起源は遠く大宝元年（西暦701年）に紀州熊野三社の一社を勧請され、現在の御本殿は元禄14年（西暦1688年）に再建されたといわれています。

備前国内式外106社の一つで神階は正四位下です。明治40年（西暦1868年）には村社に列格し、同時に神饗幣帛料協進神社に指定されました。昔は早瀧比咩の明神とか早瀧大明神とか呼ばれていて滝一田の氏神様です。

その後本殿の屋根は平成10年（西暦1998年）に銅板製に葺き替えが行われています。



御神輿巡行



だんじり巡行



手水舎・石鳥居・石灯籠

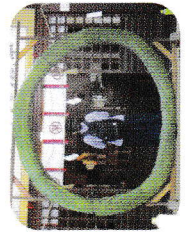
拝殿（客殿）は昭和5年（西暦1930年）に本殿を西側に移動して現在位置に建立され、最近では平成29年（西暦2017年）に屋根瓦の葺き替えが行われました。いずれも氏子の奇進による大きな工事です。諸先輩方の努力と氏子の協力によって現在の景観が保たれています。

末社である龍神社は原始信仰の滝と岩を神々と崇めたのが元で祀られ、この地方一田の雨乞いの神様となっています。

毎年10月の秋祭りにはお神輿とタマシリの巡行があり、無形文化財的な「シャギリ」を玉野市内で唯一継承している神社です。また5月5日春祭りには子ども御輿を巡行します。



南東方向からみた客殿



夏越祭茅輪



北東方向から見た本殿



噴水池

## 神社近郊の見どころ・早瀧自然公園

工石（遺標）：船で日比、秀天、八浜港に着いた参拝者は、これら工石を目印に由加山を目指しました。

天狗の足跡 天狗が大峰山から石鏡山へ下る途中、この岩の上でしばし絶景に見とれたといわれます。



天狗の足跡



令岩



龍岩

鳥池遊歩道・旧由加参道の要所です。明治10年新道が築造されるまで利用されていました。

一の滝、二の滝、三の滝、山水画の世界へどうぞ。玉野

市には希少な滝群です。

熊蔵橋現在の橋の下に見える一枚岩の橋は、大変力持ちの熊蔵さんが一人だけけたと伝えられています。

恵比寿・大黒岩・巨岩・奇岩に囲まれたこの地の山腹にひときわ大きな岩が笑っているように見えます。

千本桜宇野在住の篤志家の方が石川善右衛門の築造した池の堤壇に植樹され、公園づくりの発端です。

令岩本殿の西後方にそびえ立つ漢字の「令」と読める巨岩です。令和になって名づけられました。

髪すき岩：近在の乙女が清流を水鏡にして髪をすき整えたといわれます。

龍岩：公園内の奇岩、巨岩の中でもっとも身近にある巨岩です。石鳥居をくぐる手すく左手に見えます。